

事業所名

児童発達支援センター 太陽の家

支援プログラム（参考様式）

作成日

令和7年

2月

20日

法人（事業所）理念		多賀城市における子どもとその家族が生涯にわたり地域の中で共に育ち安心して暮らすことができるように権利擁護と子ども中心の考え方にに基づき、「発達支援」「家族支援」「地域支援」を行います。さらに関係機関と連携し地域で支え合う環境を整えるとともに地域の理解や認識を深める活動を行い児童福祉の向上を図ります。					
支援方針		・療育の中核施設としての役割 ・療育機能の充実 ・相談機能の充実		・早期からの充実 ・地域社会への参加・包容（インクルージョン）の推進			
営業時間		9時	30分から	14時	00分まで	送迎実施の有無	あり
支援内容							
本人支援	健康・生活	食事、排泄、着脱、歯磨きなどの基本的な生活習慣を獲得できるよう視覚支援の提示などを行いながらサポートしていきます。送迎時のやりとりや連携ノートを通して子どもたち一人一人の生活習慣を知り、お子さんの健康や安全に注意しながら支援していきます。ご家庭での過ごし方などを知り、お子さんに合った生活リズムを一緒に考えていきます。					
	運動・感覚	毎日の運動活動の中で、歩く、走る、止まる、跳ぶ、またぐ、四つ這いなど基本的な動きを繰り返し行うことを通して運動や動作の基本的な技能の獲得と向上を目指します。療育器具を使っの運動やサーキット、ボールプール遊び、感覚遊び、ダンス、制作などの活動を通して運動や手指の巧緻性を目指します。さらに、一人一人の好きな感覚、苦手な感覚に配慮しながら遊びや活動を行うことで、様々な感覚、感触に触れ、五感を活用できるようサポートしていきます。					
	認知・行動	集団活動、個別活動を通して一人一人の認知特性を理解し、どのような支援があればお子さん自身の理解が促されるのか、どのように自己表現を促していくかを検討していきます。視覚、聴覚、触覚等五感を活用し、制作や感触遊びなどを行う中で物と名称の一致などの獲得につなげ、認知機能の発達を促す支援をします。					
	言語 コミュニケーション	他者からの声に耳を傾け、視覚で認知する行為を自ら発信することで、他者から反応が得られる喜びにつながるよう支援します。日々の活動を通し一日の流れを視覚的に提示していく中で、活動の見通しを持って行動できるように支援していきます。また、コミュニケーションとして絵カードや指差し、身振りやジェスチャーなどを使用することによってお子さん自ら思いを発信できるようお子さんの特性や発達段階に沿った支援をしていきます。					
	人間関係 社会性	職員との心地よい関係を築くことを大切にしています。子どもたちの好きなことを見つけ一緒に遊びを楽しむことを通して、職員との関係性を育てています。集団活動を通して、他者と一緒に、協力して一つのことをやり遂げる感覚が持てるように活動を取り入れています。一人一人の好きなものや発達段階に沿った遊びを提供することで、遊びを広げるとともに、社会性や集団参加の基礎を育てています。					
家族支援		送迎時のやり取りや連携ノートを通して保護者の方とのコミュニケーションを図っています。療育参観や親子療育などの来所の機会以外にも、相談や見学などの機会を随時行っています。			移行支援		お子さんの発達や特性を考慮しながら、幼稚園、保育園等での生活がスムーズに行えるよう見学等を行いながら支援方法について情報の共有を行います。就学に向けてお子さんにとってより良い学びの場を検討しながら就学予定校へ情報を伝え、連携を図ります。
地域支援・地域連携		発達支援会議へ参加し、地域の関係機関との連携を図っています。地域全体でお子さんたちの育ちを支えていけるよう保育所や幼稚園、放課後児童クラブ、通所支援事業所等への訪問等を実施し支援、連携していきます。			職員の質の向上		内部での各種勉強会や研修を行い職員の学びの機会を設定しています。外部研修への参加を奨励し、より専門性を深めるための機会を持ち、職員の意識の向上に繋がります。
主な行事等		季節の行事（節分・ひなまつり・たなばた会・なつまつり等）を行っています。遠足・運動会・冬のお楽しみ会（発表会）・おわかれの会（修了式）を行います。					